



## さあ、答え合わせをしよう！

### 第12週目 10/5 ⑫いろいろな問題 vol.4 からの出題

1. 遺跡(いせき)は、なぜ埋(う)まっているの？

正解:②動物が埋(う)める

※ココを見てね!▶学んでみよう ②発掘調査のこと~遺跡(いせき)は、なぜ埋(う)まっているの？

雨風や災害(さいがい)によって自然に埋(う)まってしまうほか、道路や建物(たてもの)を建設(けんせつ)する目的で土壌(どじょう)を丈夫(じょうぶ)に固(かた)めるために、人間が埋(う)めることがあります。まちがっているのは②です。

2. 発掘調査(はくつちょうさ)の報告書(ほうこくしょ)は、どこで見られる？

正解:①国会議事堂(こっかいぎじどう)

※ココを見てね!▶学んでみよう ②発掘調査のこと~発掘調査って、どんなことをしているの？

まちがっているのは、①国会議事堂(こっかいぎじどう)です。国会議事堂(こっかいぎじどう)は日本の国会(こっかい)が開催(かいさい)される建物(たてもの)で、政治家(せいじか)がさまざまな法案(ほうあん)について議論(ぎろん)する場所です。なので、発掘調査(はくつちょうさ)の報告書(ほうこくしょ)とは、直接関係がありません。

3. 土器(どき)について、まちがっているのは、どれ？

正解:③昔の人のトイレとして使われた

※ココを見てね!▶学んでみよう ③遺跡が教えてくれること~地域(ちいき)と個性(こせい)調べてみよう ~時代のながれ 縄文時代②自然の恵みをいただいて、生きる

縄文時代(じょうもんじだい)になると、土器(どき)の登場(とうじょう)によって煮炊(にた)きができるようになり、食生活が豊かになりました。土器(どき)は日本列島(れっとう)の全域に広まりますが、形や色合い、デザインには地域(ちいき)によって個性(こせい)が表れています。なので、まちがっているのは③トイレですね。ちなみに、「トイレ」という存在がいつごろ登場(とうじょう)したのか正確にはわかりませんが、縄文時代(じょうもんじだい)には川岸に張り出して足場を作り、用を足していたのではないかと考えられています。書物に「トイレ」が登場(とうじょう)するのは、ずっと後の奈良時代(ならじだい)、『古事記(712年)』と『日本書紀(720年)』に「厠(かわや)」という言葉が記載(きさい)されています。

4. 「考古学(こうこがく)」から、何がわかる？

正解:①恐竜(きょうりゅう)の歴史(れきし)がわかる

※ココを見てね!▶学んでみよう①考古学と遺跡~考古学(こうこがく)でわかること学んでみよう ③遺跡が教えてくれること~災害(さいがい)と考古学(こうこがく)

遺跡(いせき)を掘(ほ)って、昔の人々が残したモノを調べると、そのころの暮(く)らしや地域(ちいき)のようすがわかります。まちがっているのは①です。ちなみに、恐竜(きょうりゅう)など、大昔の生物の歴史(れきし)を調べたり、それらの生物がどんなふう to 生息(せいそく)していたかを調べる学問(がくもん)のことを「地質学(ちしつがく)」と言います。また、それらの生物について調べる分野を、とくに「古生物学(こせいぶつがく)」と言います。「考古学(こうこがく)」と「地質学(ちしつがく)」は、地面(じめん)を掘(ほ)って調べるところは同じですが、研究対象(たいしょう)がちがいます。

5. 発掘調査の後、残された遺跡(いせき)があるのは、なぜ？

正解:③お金がでてきたから

※ココを見てね!▶学んでみよう ④遺跡は人類の宝物~遺跡(いせき)を残して、未来へつなぐ

日本には約46万か所の遺跡(いせき)がありますが、発掘調査(はくつちょうさ)の後、ほとんどは保存(ほぞん)されずに道路や住宅が建設(けんせつ)されます。特に重要(じゅうよう)だと判断(はんだん)されたものだけが残されるので、貴重(きちょう)な宝をみんなで守っていかなくてはなりません。文章を読めばわかりますね、まちがっているのは③です。